避難確保計画作成の手引きの内容			1．防災体制（洪水／内水／高潮の場合）	2．情報収集及び伝達		3．避難誘導			4．避難の確保を図るための施設の整備	5．防災教育と訓練の実施	6．自衛水防組織の業務に関する事項（自衛水防組織を設置する場合に限る）
				（1）情報収集	（2）情報伝達	（1）避難場所	（2）避難経路	（3）避難誘導方法			
検討・記載する内容			洪水時、内水時、高潮時の体制、体制区分ごとの活動内容、体制区分ごとの確立基準及び活動を実施する要員	収集する主な情報及び収集方法	緊急時における連絡体制（連絡網及び連絡方法）	洪水時、内水時、高潮時における避難場所及び避難手法（水平避難、垂直避難の選択）	洪水時、内水時、高潮時における避難場所までの避難経路	施設外の避難場所に誘導する際の避難場所までの順路、道路状況、及び避難誘導に使用する資器材	情報収集・伝達及び避難誘導に使用する資器材の整備・備蓄、維持管理	避難を円滑かつ迅速に確保するための避難確保計画に基づく研修・訓練の実施計画	自衛水防組織の運用・活動内容、研修・訓練の実施計画
情報伝達技術	1	防災無線システム									
	2	メール等		●	●				●	●	
	3	電子看板		●	●				●	●	
	4	アプリ									
	5	ＦＭ放送									
	6	伝言サービス									
	7	ＦＡＸ									
浸水危険箇所の調査技術	8	重ねるハザードマップを活用した浸水危険箇所の把握	●	●		●	●	●	●	●	
	9	わがまちハザードマップを活用した浸水危険箇所の把握	●	●		●	●	●	●	●	
	10	大雨警報（浸水害）の危険度分布を活用した浸水危険箇所の把握	●	●		●	●	●	●	●	
	11	洪水警報の危険度分布を活用した浸水危険箇所の把握	●	●		●	●	●	●	●	
浸水防止技術	12	土のう							●		
	13	止水シート							●		
	14	パラペット							●		
	15	止水板							●		
	16	防水扉							●		
	17	防水シャッター							●		
	18	防水ドア							●		
点検・モニタリング技術	19	地盤状況調査									
	20	空洞化調査									
	21	地盤変位モニタリング	●	●					●		
	22	地下水位モニタリング									
	23	水位モニタリング	●	●					●		
	24	クラック計測・モニタリング									
修復技術	25	堤防の補強と復旧									
	26	弱点・被災箇所の補強、修復など									